

海外ビジネス情報



上海

中国成長投資の動きについて

北陸銀行 国際部
上海駐在員事務所
陳 潔

1. はじめに

先般、シリコンバレーで最も影響力のあるアンドリーセン・ホロウィッツ社（ベンチャーキャピタル企業の一つ）が『世界トップ100のコンシューマ向け生成AIアプリケーションランキング』レポートを発表しました。AIウェブランキングでは、中国企業の5社が世界トップ20にランクインし、DeepSeek（深度求索）が3位、Quark（夸克）が9位、Doubao（豆包）が12位、Moonshot AI（月之暗面）のKimiが17位、Alibaba（阿里巴巴）のQwen3が20位となりました。

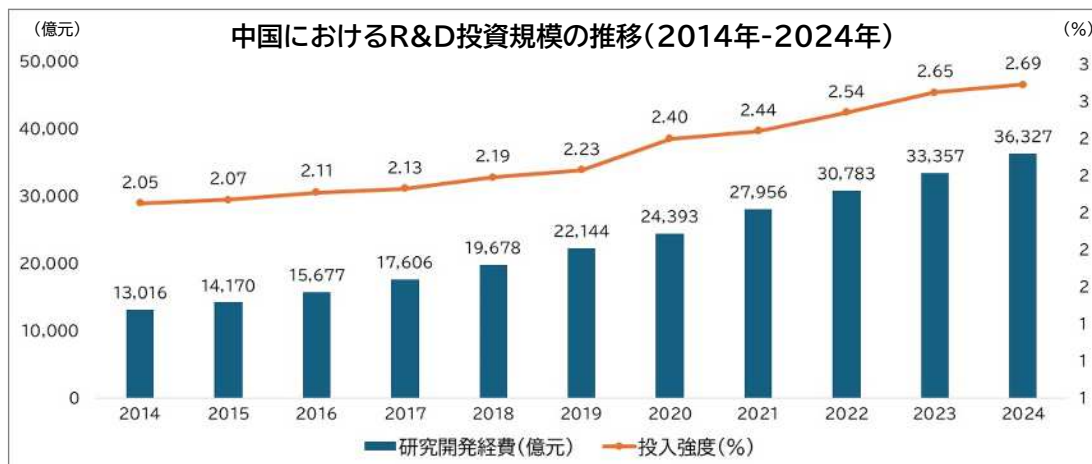
政府はAIを重要な戦略分野に位置づけ、継続的に研究開発（R&D）への支援を行ってきました。世界トップクラスにまで急成長を遂げてきた中国のAI事情について、R&D投資の観点から見ていきたいと思います。

2. 中国のR&D経費への投資

(1) R&D投資額の推移

中国国家统计局によると、R&D費用の投入額が千億元（約2兆円（1元＝20円換算、以下同様））を超える省は、2014年の4省から2024年には12省に増加し、中国全体の研究開発費総投資額は3兆6,000億元（約72兆円）を突破しました。同時に、過去10年間で全国の研究開発投入強度^(注1)は2.05%から2.69%に上昇、基礎研究費支出の割合は2%増加し、年間平均成長率は10%超になっています。

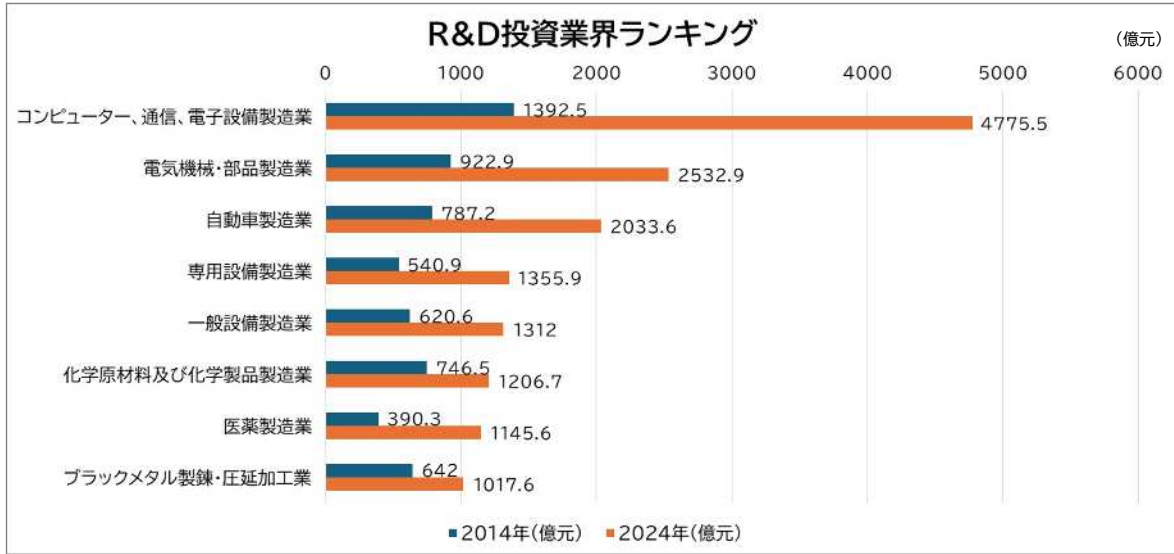
(注1) 投入強度＝研究開発経費支出／国内総生産（GDP）



【中国国家统计局のデータをベースに上海事務所にて作成】

(2) R&D投資業界ランキング (2024年)

重点分野から見ると、規模以上ハイテク製造業及び装備製造業のR&D経費はそれぞれ10.2%、10.5%増加し、規模以上企業全体の経費増加率を上回り、重要なコア技術の研究開発と産業基盤能力向上のための条件を整えています。



【中国国家统计局のデータをベースに上海事務所にて作成】

(3) R&D投資主体

中国におけるR&Dの三大主体は、企業、政府系研究機関、大学などの高等教育機関です。2024年のこれら三大主体の研究開発費用はそれぞれ約2兆8,000億元(約56兆円)、約4,200億元(約8兆4,000億円)、約3,000億元(約6兆円)となり、前年比8.8%、9.7%、11.3%の増加を記録しました。企業は社会全体の経費投入に占める割合が連続多年75%以上を維持しており、社会全体の経費増加への貢献度は77.1%に達し、我が国のR&D経費増加を牽引する主力となっています。

(4) 外資企業の中国現地法人への投資について

大手外資系企業の主要戦略(2025年)

| 外資系企業 | 具体例 | 主要戦略内容 | 主要戦略の方向性 |
|----------------------------|--|--|------------|
| ハネウェル (Honeywell, 米国) | 自社のエネルギー転換・航空・建築などの分野での省エネ・炭素削減技術と、中国の「二重炭素目標」を掛け合わせ、国家級・省級のグリーン工場を7か所設置した。(2025年) | 自社のビジネス展開を国家戦略(例:「AIプラス」行動、グリーン低炭素転換)と緊密に結び付け、中国市場のニーズに応える中で成長を実現する。 | 中国政策との共鳴 |
| シーメンス (Siemens AG, ドイツ) | 中国の十五冶と共同で工業知能体を開発し、銅精製企業に応用。パラメータ推薦採択率は94%に達した。(2025年初) | 単純な技術輸出や販売から、中国パートナーとの共同開発で共創し、「中国で中国のため」のローカライズイノベーションシステムを構築することに転向した。 | 地元協力モデルの構築 |
| クアルコム (Qualcomm, 米国) | 中国電信(China Telecom)、小米(Xiaomi)などの企業と協力し「AI加速計画」をスタートさせ、スマートフォン端末によるAI革新を推進する。(2025年9月) | | |

国務院が2025年8月に新たに発表した「『人工知能+ (AIプラス) 行動』(注2) の実施徹底に関する意見」では、人工知能技術の活用をさらに国家戦略までに引き上げ、産業全体の知的連携を推進することを明確に打ち出しています。広大な市場見通しと強力な政策環境に後押しされ、多くの国際大手企業が中国の産業AIへの投資を強化しています。

(注2) AIプラス行動：中国の国家デジタル戦略のひとつ。AIを中核として産業に深化・拡大させるためのロードマップ。

外資系企業はR&D投資の主要戦略として、中国の政策に応じた省エネ対策や、中国地元企業との業務提携によるAI加速計画への参加等、様々な目標を掲げています。外資企業が中国のAI産業発展の波にうまく乗るためには、中国の政策動向と市場特性を正確に把握し、自社に最も適した戦略を見出していかなければなりません。

4. おわりに

政府主導のもと、国内大手企業だけでなく、中小企業においても、積極的な設備投資や研究開発に力を注ぎ、中国に進出する外国企業を凌駕する品質と価格競争力を付けてきています。40年前から始まった「世界の工場」は、単なる安価なモノづくりだけではなく、ハード・ソフトの開発能力を持って、世界の競争の中でもアピールしていけるようになりつつあることを実感しています。

<ご注意> 文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容については、ご利用者の判断と責任のもとご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp